

高等学校を訪問、各種採用試験の説明を実施

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 日比野准陸尉）は、7月13日（水）、横浜中央募集相談員会長とともに、横浜市瀬谷区に所在する私立横浜隼人高等学校を訪問した。

校長をはじめ、教職員に対し、進学コースの防衛大学校や防衛医科大学校、また航空学生や一般曹候補生、自衛官候補生の制度概要や、採用試験についての説明を行った。

当校は、1学年につき18〜19クラスのマンモス校で、高校野球などスポーツ名門校であるため、体力的、精神的にも適質な学生が多いことから、募集効果は期待できる。

横浜中央募集案内所は、「今後も各種募集種目の説明会を実施し、自衛隊に対する理解を深め、多くの若者に自衛官を目指してもらえよう努めてく」としている。

小学校の防災訓練を支援

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、7月18日（月・祝）、伊勢原市立比々多小学校のPTAが主催の、生徒とその家族150名が参加する防災訓練を支援した。

訓練に先立ち、主催者側の要望に基づき、体育館において「自衛隊の任務と活動」と題して、災害派遣での活動状況を中心に所長が講話を行った。

自衛隊はTVやイベントなどでしか見たことがないという方も多く、講話の中で「日頃身近に感じられないが困った時に必ず現れるウルトラマンのような存在」と説明すると、笑いの中にも大きな拍手が湧く場面もあった。

また、迷彩服の試着や座間駐屯地に所在する第4施設群に炊事車による給食支援も行い、カレーの体験喫食では短時間で多くの美味しい食事ができあがることに驚いていた。参加者からは「自衛隊は生活に必要なすべての能力・装備品がそろっており、我々が困った時には必ず来てくれる信頼できる組織だ」との声も聞かれた。

平塚地域事務所は、「今後も、多くの方に自衛隊の任務と活動等を理解して頂き、協力が得られるよう防衛基盤の拡充に努める」としている。



講話をする平塚所長



記念撮影



体育館で体験喫食